

保護者アンケート

○実施日 平成30年11月19日～11月25日

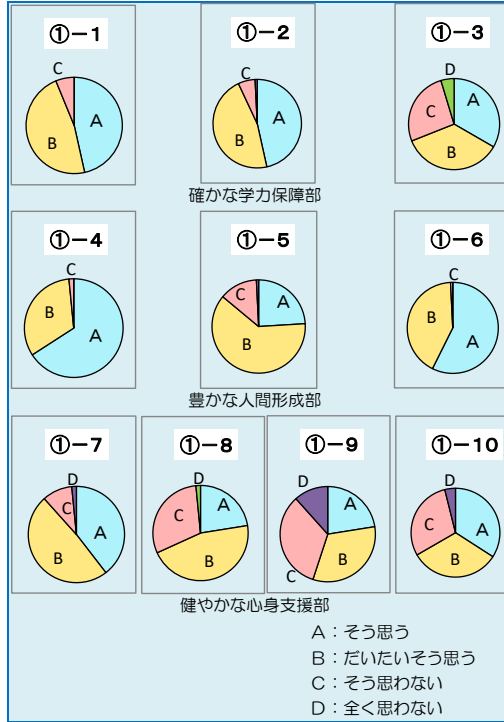
第2回保護者アンケートにご協力いただきまして誠にありがとうございます。保護者の皆様のご協力を心から感謝いたします。集約結果を十分に検討し、今後のドバイ日本人学校の教育活動充実のために生かしていきたいと思っております。

①子どもの様子

保護者の方から見たドバイ日本人学校の子どもの様子
～今年度2回目のアンケート～

【確かな学力保障部】
各教科の基本的な内容を身につけているかは、①-1の通り、A・B評価合わせて90%前後となり、概ね目標は達成されている。また、家庭での学習習慣が身につけているかは、①-2の通り、90%以上の方が定着していると考えられており、概ね達成できたと考える。引き続き、学級担任、教科担任が連携をとり、授業・宿題等、児童生徒がより主体的かつ継続的に取り組むことができるものに取り組んでいく。
読書習慣については、①-3の通り、A・B評価の合計が69%となり、昨年度や前期の評価よりやや下がった。この項目は、今年度の重点努力事項である。読書時間の徹底や読書カード等の活用により、読書に親しむ児童生徒が増えたと考えるが、家庭での読書習慣の定着には至っていない。家庭での読書習慣の定着に向けた具体策を考えていく。

①子どもの様子		評価	18後期	18前期
確かな学力保障部	①-1 各教科の基本的な内容を身につけている。	A	46.5	54.8
		B	47.3	40.0
		C	6.2	5.2
		D	0.0	0.0
	①-2 家庭での学習習慣(宿題や自主学習等)を身につけている。	A	46.5	48.7
		B	46.5	42.6
		C	6.2	6.1
		D	0.8	2.6
	①-3 読書習慣(毎日10分以上または1週間に1時間以上)を身につけている。	A	33.3	37.4
		B	35.7	36.5
		C	26.4	20.9
		D	4.7	5.2
豊かな人間形成部	①-4 友達となかよく、楽しく生活している。	A	65.9	73.9
		B	32.6	24.3
		C	1.6	1.7
		D	0.0	0.0
	①-5 自分に自信をもっている。	A	24.0	32.2
		B	62.0	53.9
		C	13.2	13.0
		D	0.8	0.9
	①-6 友達に思いやりをもって接している。	A	57.4	53.9
		B	41.9	43.5
		C	0.8	1.7
		D	0.0	0.0
健やかな心身支援部	①-7 すすんであいさつをしている。	A	39.5	40.0
		B	48.8	47.8
		C	10.1	12.2
		D	1.6	0.0
	①-8 時間のけじめをつけて生活している。	A	22.5	20.9
		B	45.7	54.8
		C	30.2	21.7
		D	1.6	2.6
	①-9 整理整頓に気を付けて生活している。	A	22.5	22.6
		B	32.6	40.0
		C	33.3	28.7
		D	11.6	8.7
①-10 たくさん身体を動かしている。	A	34.1	35.7	
	B	32.6	44.3	
	C	29.5	16.5	
	D	3.9	3.5	



【豊かな人間形成部】
各項目のA・B評価の合計結果は、全ての項目で85%を越えており、高い数値を示している。①-4「友達となかよく、楽しく生活している」と、①-6「友達に思いやりをもって接している」のA・B評価は、前期と同様98%程度となっている。このまま児童生徒が友人間で互いに理解し、信頼し、援助し合う人間関係を築くことができるよう、温かな見守りと適切な支援を続けていきたい。①-5「自分に自信をもっている」については、A・B評価の合計が86%となっている。児童生徒にとって新しいことを学び、吸収する過程において、スムーズに物事が進むとは限らない。失敗や挫折を経験しながらも、前向きな姿勢を持ち続けることができるよう、学校と家庭で連携をしながら児童生徒の自尊感情を高め、自信を持たせていきたい。

【健やかな心身支援部】
あいさつに関する項目①-7「すすんであいさつをしている」では年間を通してA・B評価を合わせると8割を超えている。昨年のデータと比較しても大きく変化は見られない。昨年度より、あいさつに特化した代表委員会のあいさつ運動や、あいさつチャンピオンの放送などを行っており、子ども達も意欲的にあいさつを行っているように感じる。
時間に関する項目①-8「時間のけじめをつけて生活している」では、昨年同様、前期よりも後期の数値の方が下がっている。児童・生徒に行ったアンケートでは数値が高いので、学校生活での時間の意識と家庭内での時間の意識に差があることが分かる。家庭との連携を密にし、生活チェック表などを活用し、家庭内で時間を意識して生活できるような企画を実施していく必要がある。
整理整頓に関する項目①-9「整理整頓に気を付けて生活している」では他の2つの項目よりは低い数値だが、昨年の結果からは数値が上昇している。2年前から帰る前の1分間の時間を使って身の回りの整理整頓活動を継続的に行って、効果が少しずつ出始めている可能性がある。より身の回りの整理について継続して見守っていくことが大切だと感じる。
運動に関する項目①-10「たくさん身体を動かしている」では、A・B評価を合わせると7割弱程度である。この数値は昨年度より低い数値である。今年度は1学期のさわやかタイムで取り組んだ長縄も2学期のさわやかタイムで取り組んだシーソーも例年より意欲的に取り組んでいたように感じている。学校内では体を動かしてはいるが、家庭へ帰った後の運動機会が少ないことや、日本と比べた時に運動機会が少ないことが、アンケート結果の原因と考えられる。帰宅後の運動機会を増やすことは非常に難しい課題だが、家庭内でできる運動実践等を提案していくことも視野に入れ、検討していかなくてはならないと感じる。

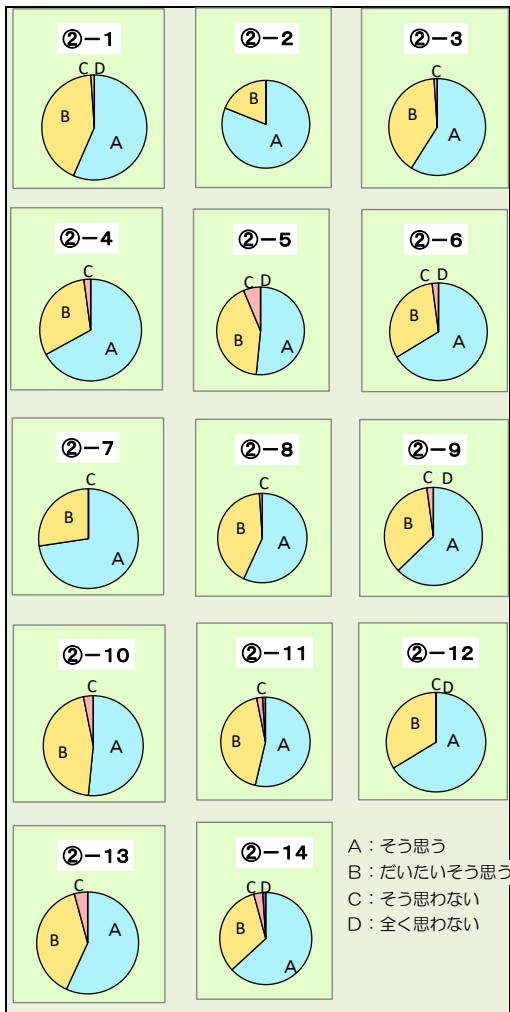
②学校の教育活動

今回の保護者アンケートでも前期と同様、多くの項目でA・B評価合計が90%を超えている。それは、多くの保護者の方に本校の教育活動をご理解いただいたこと、また、児童生徒の活躍や成長の証であると考えます。これもひとえに、保護者や関係機関のご協力のお陰だと考え、感謝申し上げます。

しかしながら、ほぼ全ての項目において、本年度前期と比較してA評価の値が減少している。その中でも、②-11学校の情報性②-12学習環境づくり②-9読書推進の項目は、A・B評価合計が97%を超えなかった項目である。情報の提供についてであるが、全体懇談会のみならず、学級懇談会、個別面談等でも丁寧に説明していくとともに、HPや学級通信等でも児童生徒の活動の様子を詳しく伝えていきたいと考える。学習環境づくりについては、サービス建屋工事関係の資材などの管理が乱雑な点もあり、清掃が十分に引き届いていない場所があった。引き続き、落ち着いて学習ができる環境整備に努めていきたい。読書推進については、図書管理システムを構築し、本の貸し出し、返却手続きが簡単になり、借りやすい状況となっている。新刊図書の購入も計画的に行っており、その紹介もHP等でも行い、豊かな学びではあるが、更に変えていきたいと考える。今後とも、良い読書環境づくりを目指し、ボランティアの方々と協力しながら進めていきたいと考える。

②学校の教育活動	評価	18後期	18前期
②-1 学校は全体懇談会等で教育方針をわかりやすく伝えている。	A	54.7	64.4
	B	41.1	34.5
	C	1.1	1.1
	D	0.0	0.0
②-2 学校は授業及び学校行事を参観する機会を適切に設けている。	A	81.1	80.5
	B	18.9	19.5
	C	0.0	0.0
	D	0.0	0.0
②-3 アンケート等を行い改善に努めている。	A	58.9	60.9
	B	40.0	36.8
	C	1.1	2.3
	D	0.0	0.0
②-4 児童生徒の安全確保に心がけ、努力している。	A	66.3	67.8
	B	30.5	31.0
	C	2.1	1.1
	D	0.0	0.0
②-5 きれいで落ち着いた学習環境づくりのために努力している。	A	51.6	59.8
	B	42.1	35.6
	C	6.3	4.6
	D	0.0	0.0
②-6 児童生徒のことについての連絡や相談に適切に対応している。	A	66.3	74.7
	B	31.6	25.3
	C	2.1	0.0
	D	0.0	0.0
②-7 たより・HP等で、学校、学年(学級)の取り組みをよく伝えている。	A	72.6	74.7
	B	27.4	25.3
	C	0.0	0.0
	D	0.0	0.0
②-8 児童生徒の学力向上に向けて努力している。	A	56.8	70.1
	B	42.1	29.9
	C	1.1	0.0
	D	0.0	0.0
②-9 朝読書や読み聞かせ等、読書教育充実のために努力している。	A	62.1	70.1
	B	34.7	26.4
	C	2.1	2.3
	D	0.0	0.0
②-10 児童生徒の心の教育のために努力している。	A	51.6	54.0
	B	45.3	43.7
	C	3.2	0.0
	D	0.0	0.0
②-11 子供の間違っただ行動には適切に指導している。	A	53.7	56.3
	B	43.2	41.4
	C	2.1	0.0
	D	1.1	0.0
②-12 「あいさつ・しかん・くつならべ」の達成のために努力している。	A	66.3	64.4
	B	33.7	35.6
	C	0.0	0.0
	D	0.0	0.0
②-13 児童生徒の体力向上に向けて努力している。	A	56.8	57.5
	B	38.9	42.5
	C	4.2	0.0
	D	0.0	0.0
②-14 現地校交流・現地理解講座等を通して児童生徒の国際性を育んでいる。	A	63.2	62.1
	B	32.6	34.5
	C	3.2	3.4
	D	1.1	0.0

アンケートへのご協力、大変ありがとうございました。
今後も本校学校教育へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



自由記述【評価理由・意見・要望等】

保護者の皆様からいただいた自由記述(評価理由・意見・要望等)については、全教職員に周知させ、今後の対応を確認した。学校からのこまめな家庭連絡、交流活動、体力向上に向けての取組などに関して、改めて肯定的なご意見をいただき、大きな励みになった。また、より良い教育活動を展開していくための貴重なご意見もいただいた。以下に要点をまとめる。

- 「児童生徒の安全確保」について
毎月実施している安全点検を徹底するだけでなく、毎日の校内巡視を継続し、危険要因の早期発見に努める。また、故障箇所については、今後とも迅速に修繕等の対応していく。
- 「生活習慣の改善」について
「身の回りの整理整頓」「時間を守って生活をする」ことは、比較的实践しやすいものの、すぐに崩れやすいこともある。帰りの会での「整理整頓タイム」や、日頃の「くつ並べ」等、日々の生活の中で定着するよう指導していく。
- 「英語教育」について
一人一人の実態に合った外国語(英語)活動を実践を目指し、教員の研修会参加、校内研修(EOオープンクラス)等を実施している。また、能力別クラス編制等も定期的に行っている。次年度からは、EC、アラビア語の授業以外に、3、4年生は「外国語活動」を週1時間、5、6年生は「英語」を週2時間プラスして実施しながら、より充実したものを目指していくことにする。